

第8回 紀の川流域治水協議会

会議方法 書面開催

資料配布 令和7年3月14日（金）

意見集約 令和7年3月21日（金）

参加者

（協議会構成員）

和歌山県危機管理部長、和歌山県農林水産部長、和歌山県県土整備部長、奈良県県土マネジメント部長、奈良県危機管理監、奈良県環境森林部長、和歌山市長、海南市長、紀の川市長、岩出市長、紀美野町長、かつらぎ町長、九度山町長、高野町長、橋本市長、五條市長、東吉野村長、川上村長、吉野町長、黒滝村長、大淀町長、下市町長、近畿農政局和歌山平野農地防災事業所長、近畿農政局南近畿土地改良調査管理事務所長、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター和歌山水源林整備事務所長、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター奈良水源林整備事務所長、近畿中国森林管理局和歌山森林管理署長、近畿中国森林管理局奈良森林管理事務所長、近畿地方整備局紀の川ダム統合管理事務所長、近畿地方整備局和歌山河川国道事務所長

（オブザーバー）

奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局長、奈良県食農部長、気象庁和歌山地方気象台長、近畿地方環境事務所環境対策課長

開催結果報告

- ① 規約の改定について確認し、承認を得た。
- ② 流域治水プロジェクトの取組状況について情報提供した。
- ③ 関係機関からの情報提供として、国土交通省和歌山河川国道事務所より内外水統合型水害リスクマップについて、近畿地方環境事務所から気候変動適応地域づくり推進事業について、近畿農政局和歌山平野農地防災事業所から実施事業等について、和歌山地方気象台から顕著な大雨に関する気象情報提供について紹介した。

④ その他主な意見

できる限り早く大滝ダムの機能が最大限発揮できるよう、実施されている大滝ダム下流の河道整備について、早期完了に向け推進をお願いする。